

東京都のノヤギ対策等の取り組み

1 聳島列島におけるノヤギ排除等

ノヤギによる植生破壊が著しい聳島列島においては、平成9年度よりノヤギ排除に取り組んできました。嫁島では他団体の協力もあり、平成15年度までに聳島列島の全島でノヤギを排除しました。

ノヤギの根絶後は、媒島において土壌流出の抑制など植生基盤の回復に取り組むとともに、媒島と聳島において生育拡大が懸念される外来植物であるギンネムとタケ・ササ類の排除に取り組んでいます。

表1 聳島列島におけるノヤギ排除実績 (単位：頭)

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	計
媒島	136	137	144					417
聳島				656	265	17	2	940
嫁島				(79)	(2)			(81)

※参考 () はNPO法人小笠原野生生物研究会による排除数

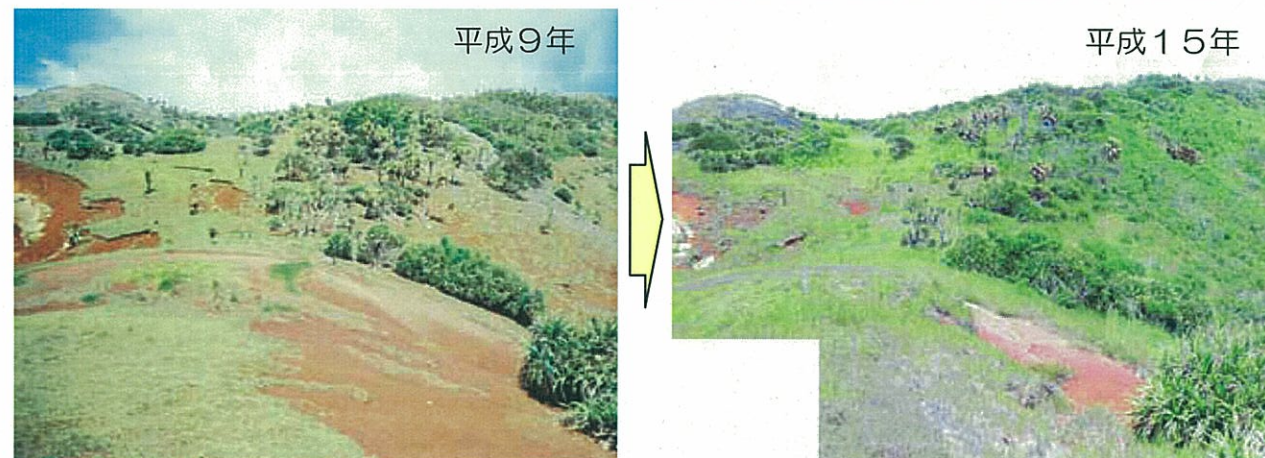


図1 聳島におけるノヤギ排除による植生変化

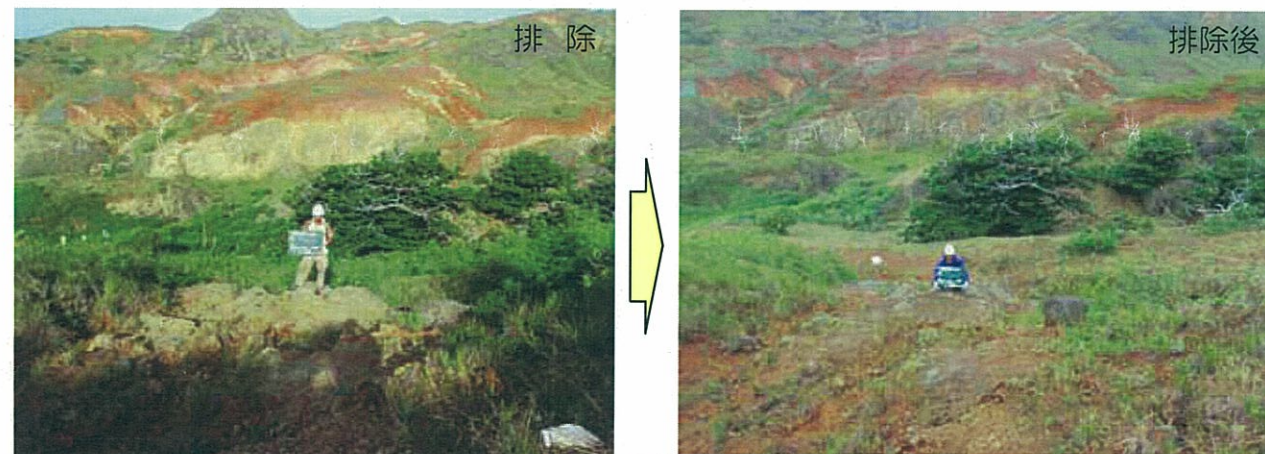


図2 媒島における外来植物排除(平成20年度)

2 父島列島におけるノヤギ排除

父島列島においては、平成14年度より西島において、平成16年度からは兄島においてもノヤギ排除に着手し、現在では両島のノヤギは根絶したと考えられます。また、平成20年度からは弟島においてノヤギ排除に着手しており、今後は根絶を目指します。父島においては、現在も相当数のノヤギが生息し、環境省、林野庁、小笠原村等の関係機関と連携してノヤギ排除に取り組んでいます。

表2 父島列島におけるノヤギ排除実績 (単位：頭)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
西島	39	2							41
兄島			78	161	87	61			387
弟島							125 (72)	89 (9)	214 (81)

※参考 () は環境省による排除数(外数)



図3 兄島ノヤギの捕獲状況(平成16年度)

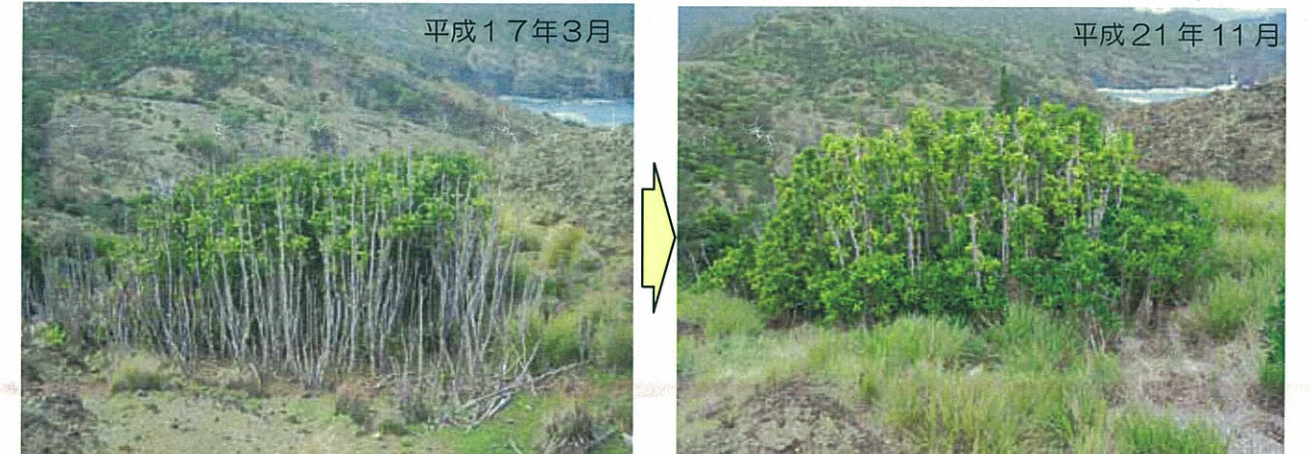


図4 兄島におけるノヤギ排除による植生変化